

2025年2月19日

輸送動向について（2025年1月分）

1. 輸送概況

国内景気は緩やかな回復基調にあるものの、物価上昇により個人消費は足踏み状態が続いており、荷動きに力強さは見られなかった。一方、当社においては、本年は平日が多かったほか、前年は強い冬型の気圧配置による減送が大きく、輸送実績は各品目ともに前年を上回った。

コンテナは、引き続き、エコ関連物資が、中央新幹線建設工事に伴う発生土の運搬や令和6年能登半島地震で発生した災害廃棄物の輸送等により前年を上回ったほか、食料工業品は、飲料水を中心とした鉄道シフトにより増送となった。また、積合せ貨物は、輸送障害に伴う列車運休が前年より少なかったことやドライバー不足を背景とした鉄道シフトが続いたことにより増送となり、コンテナ全体では前年比110.7%となった。

車扱は、石油が、前年より気温が低く推移し灯油の需要が増加したほか、ガソリンや軽油等も好調な荷動きとなり、前年を上回った。車扱全体では前年比102.3%となった。

コンテナ・車扱の合計では、前年比107.5%となった。

2. 輸送実績

(単位:千トン、%)

種別 扱別	月 計		前年比	年 度 累 計		前年比
	本年実績	前年実績		本年実績	前年実績	
コンテナ	1,468	1,326	110.7%	15,369	14,909	103.1%
車 扱	820	802	102.3%	6,925	6,821	101.5%
合 計	2,289	2,129	107.5%	22,295	21,731	102.6%

3. 品目別輸送実績表

(単位:千トン、%)

扱 別	品 目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農 産 品・青果物	131	121	9	107.7%
	化 学 工 業 品	123	116	7	106.2%
	化 学 薬 品	92	85	6	107.6%
	食 料 工 業 品	210	193	17	109.2%
	紙 ・ パ ル プ	179	166	13	108.2%
	他 工 業 品	97	88	9	110.5%
	積 合 せ 貨 物	242	226	16	107.1%
	自 動 車 部 品	61	50	11	123.1%
	家電・情報機器	29	26	2	109.6%
	エコ関連物資	55	29	25	186.0%
	そ の 他	244	222	21	109.8%
	コ ン テ ナ 計	1,468	1,326	141	110.7%
車 扱	石 油	574	545	28	105.3%
	セメント・石灰石	134	140	-6	95.4%
	車 両	77	76	0	101.2%
	そ の 他	35	39	-4	87.6%
	車 扱 計	820	802	18	102.3%
合 計		2,289	2,129	159	107.5%

(車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値)